

マテリアリティ特定プロセス

住友生命は、経営方針のひとつとして「CSR経営方針」を策定しCSR経営を推進しております。
こうした中でCSRを取り巻く国際的な潮流を踏まえ、CSR経営を推進する上で重要となる項目（CSR重要項目）を選定しCSR重要項目の選定にあたっては、GRIスタンダードで示される重要性判断プロセスをベースに、以下の手順で検証作

ました。
業を実施しました。

STEP 1

CSR関連項目の洗い出し

国際的な各種ガイドライン等、外部リソースによる助言等を参考に、CSRに関連すると考えられる項目の洗い出しを行いました。さらに、項目の集約と修正を行い調査の対象とする項目を抽出し整理いたしました。

ガイドライン等

- ・ GRI ガイドライン
- ・ IIRC
- ・ 国連グローバル・コンパクト
- ・ ISO26000 等

外部からの助言等

- ・ 外部リソース(外部有識者・団体)による助言等を参照

洗い出し

抽出・整理

CSR関連項目
(148項目)

調査対象項目
(STEP2へ)

STEP 2

社内外の評価に基づく絞り込み

STEP1で抽出した項目について社内外からの事業視点」の両軸から優先順位付けを行いました。と住友生命双方から見て特に重要度の高い16項目

社内外意見の反映

【ご契約者懇談会の様子】



ステークホルダー視点

全国で開催されたご契約者懇談会等でお客さまからいただいたご意見をもとに項目を分析

【管理職会議の様子】



住友生命事業視点

管理職層を対象にアンケート調査を実施し、結果をもとに項目を分析

NPO・公益財団法人等からのご意見を反映

住友生命経営層による確認

特に重要度の高い項目の選定(16項目)

ステークホルダー・住友生命双方にとって特に重要度の高い項目を設定

高

ステークホルダー視点

住友生命事業視点

高

1 先進的な商品・サービスの開発・提供

2 サステナビリティ貢献型商品・サービスの開発・提供

3 現行の商品・サービスにおける感動品質の提供

4 販売チャネルの拡充・サービスの充実

5 中長期的な視点での利益の追求

6 事業環境の変化への対応

7 機関投資家として責任ある投資活動

8 事業展開インフラ(IT等)の強化

9 働きやすい職場づくり

10 お客さまとの信頼関係の構築

11 利害関係者との対話

12 地域社会への貢献、協調関係の構築

13 地球環境の保全*

14 コーポレートガバナンス

15 リスク管理

16 コンプライアンス

※2021年度に再整理を行い、現在はBに区分。

STEP 3

CSR経営方針に基づいたCSR重要項目の検証

住友生命は、CSR経営方針を踏まえて5つのCSR重要項目を整理しております。本プロセスから導かれた16項目がこの5つのCSR重要項目に当てはまることを確認し、その妥当性を検証いたしました。

価値の創造

CSR重要項目

A

CSVプロジェクト

保険事業を通じた健康寿命の延伸

B

保険事業を通じた安心の提供

C

持続的・安定的な成長の実現

D

ステークホルダーとの信頼関係の構築

E

CSRを支える経営体制

CSR基盤

特に重要度の高い項目

A

1 先進的な商品・サービスの開発・提供

2 サステナビリティ貢献型商品・サービスの開発・提供

B

3 現行の商品・サービスにおける感動品質の提供

4 販売チャネルの拡充・サービスの充実

C

5 中長期的な視点での利益の追求

6 事業環境の変化への対応

7 機関投資家として責任ある投資活動

8 事業展開インフラ(IT等)の強化

D

9 働きやすい職場づくり

10 お客さまとの信頼関係の構築

11 利害関係者との対話

12 地域社会への貢献、協調関係の構築

13 地球環境の保全*

E

14 コーポレートガバナンス

15 リスク管理

16 コンプライアンス

※2021年度に再整理を行い、現在はBに区分。